

平成 25 年 5 月 29 日

各位

大日本パッケージ株式会社

### グラビア印刷業界初、ライスインキ使用での本格生産を開始

弊社に於いてインキ選定は、印刷品質や後加工適性、価格等、お客様の製品要求を満足させるものである事は勿論ですが、環境に配慮した製品となっている事が重要であり、業界の持続には必要と考えております。

弊社工場は、大気への考慮として、2003 年から燃焼式脱臭装置を導入し、空調設備を強化する事で、埼玉県グラビア工場として最初に法規制に対応が出来ました。

この度、開発されたライスインキは、グラビア印刷業界初めてとなる米ぬか由来の樹脂を使用している環境配慮型インキであります。

原料に使用するポリアミド樹脂は、米ぬか油の生産時に非食用の副産物として出来る原料から作製されており、未利用バイオマス活用として資源循環型サイクルの促進に期待が高まっております。

今まで食用として使えない廃棄されてきた物を、日本人の「もったいない」の精神に基づいた新しいタイプのインキであり、CO<sub>2</sub>の削減と同時に、輸入に頼らず、国内資源の有効活用も行っております。

ライスインキは、元々オフセット印刷が先行し、その後フィルム用表刷りグラビアインキとして開発されておりますが、弊社では紙印刷の表インキ代替として取り入れを試みました。

今まで使用されているインキと耐摩擦性、滑り性、耐光性等は遜色なく、既存製品と同等の品質対応が出来た為、本生産の採用に至る事が出来ました。

環境配慮型のインキの為、バイオマスマークを入れる事が可能で、その他にライスインキ・コンソシアムが作成しているライスインキマークを包材に入れる事が可能であります。

今後もお客様の製品要求を考慮の上、環境に配慮できる製品を提供して行きたいと考えております。

〈晒片艶 印刷物〉

